＜塾生の皆様へ塾長メッセージ＞　　2025 年 4 月 20 日(日)

全ての学力の基礎は読解力。辞書・新聞・読書・図書館を活用し読解力を育てよう！(Ⅰ)

開倫塾
塾長　林明夫

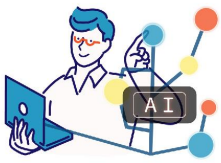
Q：全ての学力の基礎は「読解力」とは、どのようなことですか。

A：(1)①「読解」とは、「文章を読んでその意味を理解すること」。
②「文章の意味を読み取ること」です(岩波国語辞典)。
③「文章だけでなく、様々情報に接して、その意味を理解すること、読み取ること」も「広い意味の読解」と考えます。

(2)①「読解力」とは、「文章を読んで、その意味を理解する能力、読み取る能力」
②「文章や、様々な情報に接して、その意味を理解し、読み取る能力」といえます。
③この「文章や様々な情報」の中には、「学校教科書」「学校問題集」「資料集」「定期試験問題」「単元テストの問題」も含まれます。

(3)①もちろん、「英検の試験問題」「模擬試験の問題」「入学試験の問題」も含まれます。
②「開倫塾の全てのテキスト・教材・問題集」も含まれます。
③「インターネット」で得られる「様々な文章や情報・データ」も含まれます。

(4)①「道路標識」をはじめとする様々な「標識」「サイン」も含まれます。
②「新聞」や「本」に掲載されている「文章」や「情報」も「読解力」の対象に含まれます。
③「テレビ」「ラジオ」「映像」から得られる「情報やデータ」も「読解力」の対象と考えます。



(5)①もっと広く考えれば、様々な自然現象や社会現象、生命現象も、必要に応じて、「その意味を理解し、読み取る」べき「読解力」の対象に含まれます。
②内視鏡や CT、MRI など最先端の医療器機を用いて、循環器、様々な臓器や頭部を検査し、治療に当たる医療チームは、その専門分野ごとに「医療情報に接して、その意味を理解し、読み取る能力」が求められます。
③救命医療の担当者、介護施設の担当者、自動車の整備士、スパーマーケットやコンビニのマネジャー、幼稚園・保育園、小学校・中学校・高校・学習塾・予備校の先生・事務員の皆様も、様々な情報に接し、その意味を理解し、読み取る能力が求められます。
○よく考えれば、「読解力」の対象となる「文章や情報」はずいぶん多いと考えます。

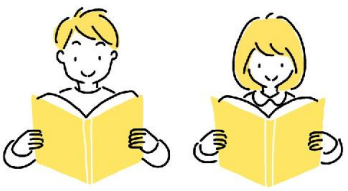
Q：では、何のために、このような「読解力」は必要なのですか。「文章や様々な情報に接し、それらを読み解き、その意味を理解し、意味を読み取る能力」は、なぜ必要なのですか。

A：(1)「文章を読んで、様々な情報に接し、その意味を理解し、読み取り」、「ではどうしたらよいかを自分で考え、行動に移すため」です。

(2)例えば、自動車を運転して、「進入禁止」や「一方通行」の「道路標識」を見たら、その道路標識の意味を理解し、意味を読み取り、その「進入禁止」の道路の中に自分の車を走らせない、「一方通行」の標識に従い、自動車を運転する。「進入禁止」や「一方通行」の中を自動車を走らせたらどうなるか。前方から、ドンドン車が走ってきますので、大きな事故の原因となり、自分自身や前方からくる自動車の運転手に大きな被害を与える原因をつくる

ことになります。
（３）衝突したら自動車や道路の損壊という被害の原因になります。

Ｑ：それではお聞きします。「様々な文章を読み、その意味を理解し、読み取る能力」「様々な情報に接し、その意味を理解し、読み取る能力」、つまり、「読解力」を身に着けるにはどうしたらよいですか。具体的にお教えください。

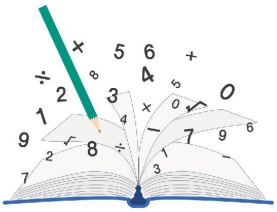


Ａ：ずいぶん、前置きが長くなりましたが、ここからが、本論、本番です。頑張って、最後までお読みください。
（１）「文章を読んでその意味を理解する、文章の意味を読み取る能力」、つまり、「読解力」を身に着けるにはどうしたらよいか。
（２）①例えば、「学校の教科書」「学校の教材」「学校問題集」「定期試験」「英語検定」「業者模試」「入学試験」などの「文章を読んで、その意味を理解する、文章の意味を読み取る能力」つまり「読解力」を身に着けるには、どうしたらよいか。
②そこに出てくる「文章を読み、よく意味の分からない語句があったら、気持ちが悪いと考え、辞書を用いて、その意味を調べること」「その語句の読み方がわからなければ、気持ちが悪いと考え、辞書を用いて、その読み方(英語であれば、発音の仕方)を調べること」。
③「辞書で調べた内容は、意味調べノートや単語帳、シートなどに、できれば、その語句が用いられている文章を含め、書き写すこと」「書き写したら、その文章を含め、繰り返し、音読練習(発音練習)、書き取り練習などを行い、身に着ける(定着)させること」
（３）このように、
①「その文章全体の意味を理解し、文章の意味を読み取る」ためには、「意味の分からない語句があったら、辞書を用いて調べること」が第一。
②そして、読み方と、その意味を、書き写すことが第二。
③さらには、その語句を、「音読練習」「書き取り練習」をして、「身に着ける(覚える、定着させる)ことが第三。
④そうして、その文章全体の意味を考えることが大切です。

Ｑ：ちょっと質問があります。「学校の教科書」に出ている内容について、「国語辞典」で意味を調べたのですが、それでも、教科書に書いてある文章がよくわかりません。例えば、中学３年生の「公民」で、「日本国憲法の３大原理は、基本的人権の尊重、国民主権、平和主義の３つ」とありますが、どういうことなのでしょうか。

Ａ：この文章を理解するには、「国語辞典」だけではなかなか難しい。
（１）①「日本国憲法」とは何か。そもそも「憲法」とは何かから始まって、「大日本国憲法」や「日本国憲法」制定の歴史、その特徴を勉強、理解しなくてはならないからです。
②「3大原理」の一つ一つについても、「主権」とは何か。「国民主権」の歴史を、第二次世界大戦、ポツダム宣言、象徴天皇制などとともに、学ぶ必要があります。
③「基本的人権の尊重」「平和主義」についても同じです。これらについても、人類の歴史や、日本の歴史を学び、初めて理解できます。
（２）①中学校や高校の「各教科の教科書」で学ぶ一つ一つの文章には、「国語辞典」や「英和辞典」で調べれば、その内容が理解できる「語句」も多いですが、勉強は積み重ねですので、その教科、教科の内容をよく理解したうえでないとなかなか理解できないものも、数多くあります。

②中学３年生の２次関数を理解するには、小学生で学ぶ、「数」「足し算」「引き算」「掛け算」「割り算」「分数」「少数」「比例」「反比例」など算数の基本はもちろん、中学生で学ぶ「正の数」「負の数」「一次関数」など、基本的な数学を学び、身に着けていることが求められます。



③ですから、よくわからない「語句」があったら、「国語辞典」「英和辞典」でその意味を調べると同時に、各教科の「基本となる知識」についても、もう一度学び直すことが求められます。

（３）①医学の教科書を読む場合には、「国語辞典」で調べると同時に、「医学事典」や「医学の教科書」「高校の生物・化学・物理・地学の教科書」も最大活用して、「教科書の内容を理解する」ことが大事です。

②自動車の整備の「教科書」」もまったく同じです。部品の名称や機能、特徴、取り付け方、整備・点検の方法はもちろん、自動車はなぜ動くのかから始まり、ガソリン自動車、ハイブリッド自動車､電気自動車のエンジンその他の仕組み・原理原則の理解が欠かせません。

（４）インターネットで得られる情報についてもまったく同じです。

①一つ一つの情報の背景として求められる知識を、少し少しずつでも確実に学び、自分のものとしていくことが大切です。

②まして、生成ＡＩで得られる情報を理解し、活用するには、100％信用するのではなく、自分で考える力､「批判的思考能力」が求められます。

③よく意味のわからない語句は､「気持ちが悪いと考え」辞書を用いて調べる。調べたことは、ノートやシートにメモし、全部覚える、自分のものとして活用することをおすすめします。

Ｑ：家ではどのような辞書を用いたらいいのですか。

Ａ：（１）小学校・中学校・高校など、学校で用いる辞書を大切に、大切に一生にわたって使用することです。

（２）手を伸ばせばすぐに届く場所､一定の場所､保存場所に置いておくことをおすすめします。

（３）今まで使っていた辞書、今使っている辞書を、各部屋の手に届く場所に置き、気軽に使えるようにしておくことをおすすめします。

○「教育ある人」とは､「一生勉強し続ける人」と考えます。わからないことばがあったら、身近にある辞書を用いて、すぐに調べることが習慣となっている人は､「教育ある人」と考えます。

Ｑ：家にある辞書に載っていないことばはどのように調べたらよいのですか。

Ａ：（１）そんなときこそ「学校図書館」「公共図書館」「大学図書館」の出番です。

○「図書館」には辞書がたくさんあるからです。

（２）ですから

①「学校図書館」には、毎日1回いくこと、

②「公共図書館」には、集1～2日行くこと、

③大学生は「大学図書館」に毎日いくこと、

（３）①社会人になったら母校の「大学図書館」に年に何回か出掛けることを「生活習慣」とすること。

②図書館を自分の「居場所」(サードプレイス、ほっとする場所)になさることをおすすめします。

Q：エッ、「大学図書館」が在学生・卒業生でなくても使えるのですか。

A：(1)はい。その通りです。

(2)栃木県宇都宮市の「作新学院大学」と「宇都宮大学」の「大学図書館」は届け出れば市民の皆様も利用できますので、大いにご活用ください。

(3)東京都内の「大学図書館」は人口が多いためか、卒業生は利用できても、一般市民の利用は難しいようですが、地方の「大学図書館」は利用できるところがあるようです。各大学図書館のＨＰなどで調べて、近くの大学図書館を皆様の「居場所の一つ」とすることをおすすめします。

○明治大学などは、大学がやっている「社会人講座」に参加し、登録すれば、明治大学のすべての図書館が使用可能のようです。

Q：読解力を身に着けるのに「辞書」が役立つこと、「家にある辞書」に載っていない語句は、「図書館」で調べるとよいことがよくわかりました。「新聞」を読むと「読解力」が身に着くのですか。

A：(1)「新聞」は、今、世界や日本、地域で起きている出来事が「5W1H」つまり、「When（いつ)、Where（どこで)、Who（誰が)、What（何を)、Why（なぜ)、How（どのように)」行われたのか、具体的に読者に伝える。ちょっとおかしいから読者の皆様は「気を付けた方がいいよ」と教えてくれる役割を果たすものです。

(2)「新聞」は「社会の番犬」といわれるのもそのためです。

(3)新聞記者は「記者魂」批判的思考、「クリティカルシンキング」で「社会の利益(Public Interest)」のために「社会の矛盾」「不条理」を誰に遠慮することなく、どんどん指摘、社会の健全な発展に貢献しています。

(4)新聞を毎日、30 分以上、一面からなめるように読んでいると、「自分で考える力」「批判的思考能力」と同時に論理的・分析的な「読解力」が身に着きます。

(5)特に「新聞記事」や「新聞の論説」「新聞の特集記事」のような、「論理的・分析的な文章」を「読み理解する能力」が身に着きます。

(6)ですから、気になる記事は切り抜いたり、書き抜いたりして、自分の意見を書き込み「スクラップブック」をつくることをおすすめします。

Q：「読書(本を読むこと)」も「読解力」を身に着けるのに役立つのですか。

A：(1)これぞという本を、じっくり腰を落ち着け「時空を超えて著者と対話をする」ようなつもりで最後まで、時間をかけ読み続けると「読解力」が身に着きます。

(2)これぞという文章に出会ったら、たとえ一行でも「書き抜き読書ノート」に書き写し、繰り返し読むと自分のもの、自分の人格の一部になります。

(3)この「読書」でも「学んだことを自分のことばでいえる(表現)説明できる」「深い理解」を目指しましょう。

どうかよろしくお願いいたします。

お身体お大切に。

2025 年 4 月 22 日(日)